

令和4年4月20日

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所

**航空交通データの提供による我が国の産学官連携への貢献で
令和4年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において科学技術賞を受賞**

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所（所長：島津達行）岡恵主任研究員、古賀禎上席研究員、瀬之口敦主任研究員は、「航空交通データの提供による我が国の産学官連携への貢献」で令和4年度科学技術分野の文部科学大臣表彰において科学技術賞（科学技術振興部門）を受賞しました。

安全で効率的な将来の航空交通システムの構築には研究開発の更なる推進が必要であり、航空機の実運航データが不可欠です。当研究所は、大学等の研究者でも多量の実運航データを入手できるように、航空交通データの収集・整備・提供をする活動に取り組みました。

本活動により整備した約150万機分の実運航データは、CARATS オープンデータとして国土交通省を通じて大学等の研究者に提供され、多数の研究開発へとつながり、成果は航空行政や国際的な文書作成にも生かされています。

参考**航空交通データの収集・整備・提供をする活動について**[次ページ参照](#)**令和4年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞者等の決定について**https://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/mext_00989.html**CARATS オープンデータ**https://www.mlit.go.jp/koku/koku_fr13_000006.html**お問い合わせ先**

国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所

研究計画課 情報発信係（代表）TEL 0422-41-3168, URL: <https://www.enri.go.jp>

〒182-0012 東京都調布市深大寺東町7丁目4番23号

航空交通データの収集・整備・提供をする活動について

地球環境を保全しつつ、安全かつ効率的な航空交通を実現することが求められており、国土交通省航空局では 2010 年より我が国の「将来の航空交通システムに関する推進協議会（CARATS 推進協議会）」において、将来の航空交通システムの構築に向けた検討が行われています。

安全で効率的な将来の航空交通システムの構築には研究開発の更なる推進が必要であり、航空機の実運航データが不可欠です。従来、大学等の研究者は、多量の実運航データの入手が困難な状況でした。また、複数の管制システムで座標系が異なり、統一フォーマットが存在しておらず、データの活用には高いハードルがありました。

そこで当研究所は、航空交通管制情報処理システムの統計データを研究開発に利用しやすいフォーマットに変換し、併せて航空機から詳細なデータ項目を収集する航空交通管制用レーダーシステム（SSR モード S）を開発して、航空交通データの収集・整備・提供をする活動に取り組みました。

本活動により整備した約 150 万機分の実運航データは、CARATS オープンデータとして国土交通省を通じて大学等の研究者に提供され、航空交通データの活用が広まりました。この結果、多数の研究開発が喚起され、航空行政の施策検討への活用や国際民間航空機関の関連文書への掲載など、我が国のプレゼンス向上や国際競争力の強化に寄与することができました。

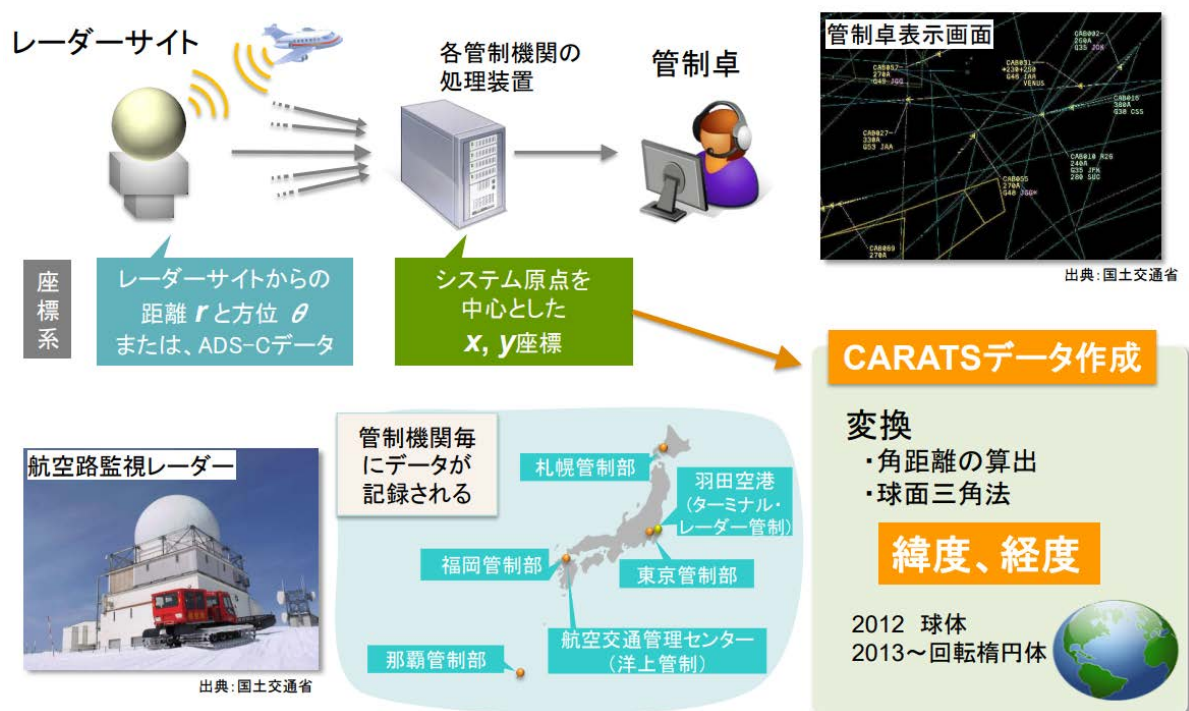


図 CARATS オープンデータの作成方法